



 加古川市立神吉中学校

学校だより

第34号
校長室より

生徒会執行部が「分灯式」に参加しました！

1月11日（土）に、阪神淡路大震災の記憶をつなぐ「1. 17希望の灯り」の分灯式が神戸市中央区の東遊園地で行われ、本校の新生徒会執行部の3名の生徒が参加しました。

「希望の灯り」は、震災から5年後に、復興を願って全国から集められた種火を一つにして点灯されたものです。

分灯式当日は、中学校など約30の団体から150人が参加し、灯りを管理するNPO法人の代表の方から「希望の灯りを持ち帰り、地震が起きた時にできることを家族や友だちと話してほしい」と話がありました。また、本校の生徒がインタビューを受け「30年前のことだから全然知らなかったことだけど、この震災のことを受け継いでいかないといけないと思いました」と話していました。

1月17日には、阪神淡路大震災から30年の追悼の日を迎えます。神吉中学校では、追悼行事として「1. 17集会」を行い、生徒会執行部が持ち帰った「希望の灯り」を灯し、震災について学び、考える機会とします。

